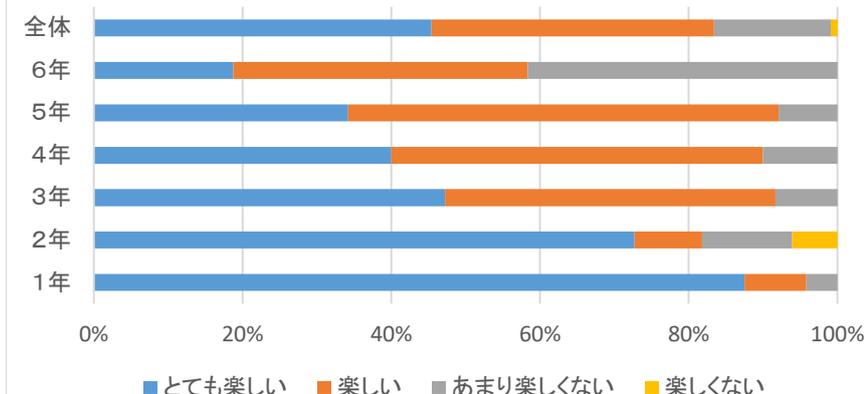


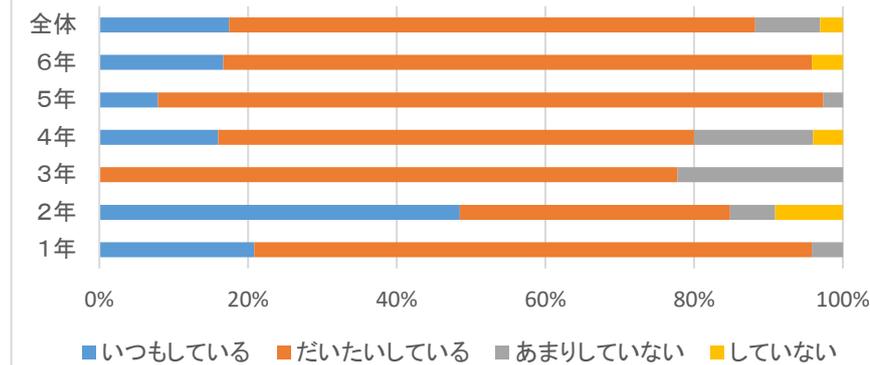
令和2年度外国語科児童アンケート等の結果

(1) 外国語科の授業は楽しいですか



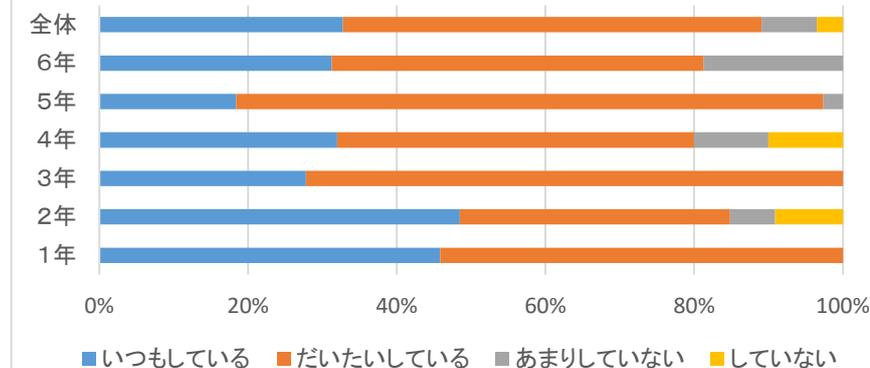
全体的には、およそ8割の児童は外国語科の授業が「楽しい」と感じているが、6年生ではおよそ4割の授業が、「あまり楽しくない」と思っている。また「楽しくない」と感じている児童が一部の学年にも見られる。

(2) はっきりした大きな声で話すことを心がけていますか



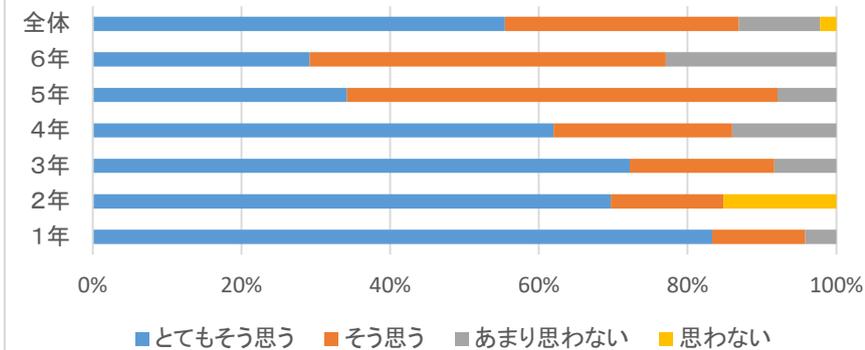
全体的に9割の児童が「はっきりした大きな声で話すこと」を心がけているが、いつもしている割合は減少傾向にある。約3ヶ月間の休校中にコミュニケーションの機会が全くなく、意識が薄れてきたのではないかと思われる。

(3) 相手の目を見ながら会話することを心がけていますか



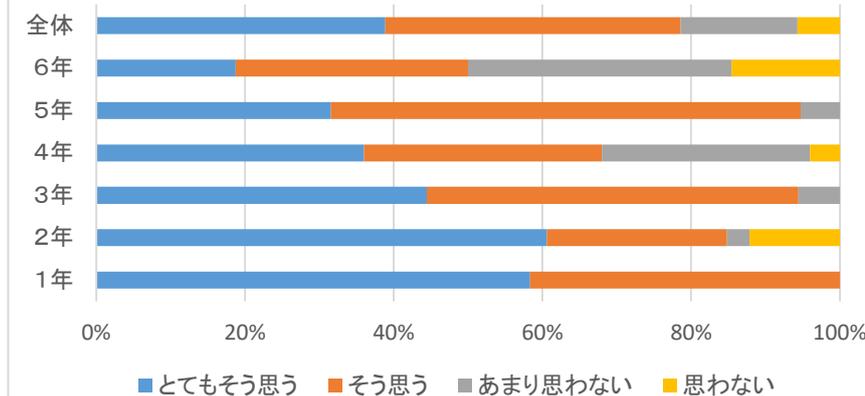
全体的におよそ9割の児童が「相手の目を見ながら会話すること」を心がけてはいるが、していない割合が大きい学年も見られる。外国語科の活動における5つのポイントを低学年のうちからしっかりと身に付けさせ、高学年で定着させる必要がある。

(4) もっと英語が話せるようになりたいですか



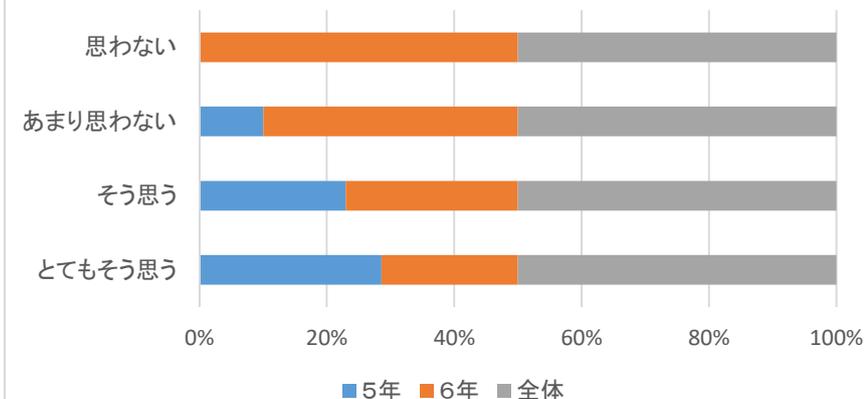
全体で80%以上の児童がもっと英語が話せるようになりたいと感じているが、高学年になるにつれてその割合は減っている。学習内容も難しくなるが、間違いを恐れず発言できる雰囲気づくりが必要かと思われる。

(5) 外国語科の授業は好きですか



およそ80%の児童が外国語科の授業が好きと答えているが、学年間の差が大きく、6年生では約50%になっている。コロナの影響でアクティビティーが制限されたのも要因の一つと考えられるが、もっと児童の興味を引く授業改善が必要と思われる。

(6) 外国語科の授業はわかりますか



全体的に「わかる」と感じている児童は50%にとどまっている。

机間指導を増やし、個々に応じた支援を増やす必要がある。

(保護者・学校関係者の関係や意見)

- 家庭の中でも、授業で習ったあいさつや、言葉などを使うことが多くなり、英語に慣れ親しんでいる様子うかがえる。
- 授業について家庭で話すことが多くなり、楽しんでいる様子わかる。
- 学校内の掲示にも、外国語コーナーがあり、授業の様子がうかがえるとともに、外国の文化に触れる機会も多くなっている様子もうかがえる。
- 子どもたちが楽しく授業に参加している。また、j授業における日常的なあいさつが自然とできており、授業の積み上げが感じられる。